

# いなば

ここは  
IKバーソン  
挑戦者たちの  
劇場だ。



## 当たり前をつなぐ、未来を紡ぐ。

**IK INABATA**

No. 252  
January  
2026



# News Digest

稻畑産業のさまざまな出来事をお伝えします。

8/21

## 格付「A(安定的)」に格上げ

当社は、株式会社格付投資情報センターの発行する格付において、今年初めて「A(安定的)」を獲得し、従前の「A-(安定的)」から「A(安定的)」(シングルAマイナスからシングルA)に1段階の格上げとなりました。幅広い領域で強固な仕入・販売基盤を構築し、利益規模が一段と拡大したことが、評価されたものです。

格付機関：株式会社格付投資情報センター (R&I)

発行格付：A(安定的)

公表日：2025年8月21日(木)

8/28

## 「JPX日経インデックス人の資本100」に選定

当社は、株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出する、人的資本に着目した新たな株価指数「JPX日経インデックス人の資本100」の構成銘柄に選定されました。

本インデックスは、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄から人的資本に関する評価が特に高い上位100銘柄を対象に毎年8月に選定されます。2025年7月より算出・公表が開始された新しい株価指数で、企業の人的資本経営の推進を後押しし、企業価値の向上と投資家の利益をつなぐ好循環が期待されています。



9/2~4

## 情一、情三、稻畑インディア

### 「SEMICON India 2025」に初出展

情報電子第一および第三本部、稻畑インディアは、カンケンテクノ社と共に、インドのデリーで開催された半導体の展示会に初出展しました。インドの半導体市場は、政府の補助金による大型投資を背景に大きな成長が期待されており、当社はカンケンテクノ社の半導体排ガス処理装置の拡販を積極的に進めております。



9/5

## 「Gomez ESGサイトランキング2025」優秀企業に3年連続選出

当社は、株式会社ブロードバンドセキュリティが発表した「Gomez ESGサイトランキング2025」において、上場企業約3,940社のうち総合ランク125位(得点6.70点)となり、3年連続で優秀企業(評点6.00以上)に選出されました。昨年比では、「ウェブサイトの使いやすさ」「E(環境)」のカテゴリーの順位が上がり、総合で6位UPとなりました。



9/17

## 非化石証書購入で、国内連結グループの2024年度使用電力を実質再エネ化

当社は、国内連結グループ\*における2024年度使用電力のほぼ全量に相当する非化石証書を購入し、使用電力の実質再エネ化を実現しました。その結果2024年度のGHG排出量は、基準年である2022年度比で12.9%削減となりました。

当社は、2050年度カーボンニュートラルの達成を長期目標に掲げるとともに「サステナビリティ中期経営計画2026」において、2026年度までにGHG排出量(国内外連結グループのScope1,2)を2022年度比25%、2030年度までに42%削減する目標を設定しています。

\*IKJ単体および国内連結子会社11社

10/14~16

## 情二、情三、稻畑台湾

### 「台北紡織展(TITAS)」に初出展

台北で開催された台北紡織展(TITAS)に情報電子第二および第三本部、稻畑台湾が共同で初出展しました。同展示会は今回で29回目となるアパレル展示会で、今年は「持続可能な環境保護、機能的応用、スマート製造」の3つをテーマに、ハイテクで持続可能な繊維産業の推進を目的に開催されました。当社ブースでは、顔料水分散体、温調樹脂／繊維、蓄光材など9商材を、アパレル業界に向けて拡販しました。



10/22~23

## 2025年度「グローバルスタッフミーティング」開催

YUITO日本橋室町野村ビルにて、2025年度の「グローバルスタッフミーティング」が開催されました。会社の価値観を互いに共有することで、参加者同士のネットワークを広げ、グローバルビジネスの発展につなげる目的で行われています。

今年は海外各拠点より12名、IKJから4名の計16名が参加しました。



10/22~24

## 稻畑広州、国際水素展示会(CHFE2025)に出展

中国・広東省佛山市で開催された「第9回中国(佛山)国際水素と燃料電池技術及び製品展覧会」(通称CHFE2025)のJETROジャパン・パビリオンにて、旭化成製品XYRON(変性PPE樹脂)を旭化成上海と稻畑広州で共同出展しました。出展ブースでは、水素製造装置である「水電解槽」内に使用される電解質膜を固定する「金属フレームの樹脂化」をテーマに、中国の水電解槽メーカーへのPR、商談を実施しました。



8/18

## S-IK INDONESIAが30周年記念式典を開催

S-IK INDONESIA(インドネシアのIKPCグループ会社、略称SIK-I)は設立30周年を記念する式典をジャカルタ郊外のホテルにて開催しました。SIK-Iは1995年8月7日に設立され、2025年8月7日で30周年の節目を迎えました。

式典では30年の歩みを振り返るメモリアルビデオの上映・民族舞踊・バンド演奏などが行われ、涙あり、歌あり、踊りありの感動的なひとときとなりました。来賓および全社員が一体となって、30周年を盛大に祝いました。あいさつの中で、たくさんの苦難を乗り越え、30周年を迎えたことへの感謝と、「次の40周年に向けてみんなで力を合わせて未来を築きましょう」と力強く述べられました。本式典は、全社一体となってさらなる発展の決意を新たにした記念の日となりました。



社員による民族舞踊



全社員の集合写真

## 社員のための“IR超入門”

# 15年前と今を比べてみた!

## 投資家目線で見る稻畑産業の“進化”

創業120周年を迎えた2010年から早15年。この15年で、稻畑産業はどのように変わってきたのでしょうか？

株価や売上高などの客観的数字を比較してみることで、投資家目線で当社の変化を見てみましょう。

(IR企画部)

グレー文字：2010年3月期 黒文字：2025年3月期

期末株価	時価総額	株主数・株主構成
441円 ↓×約7倍 <b>3,170円</b>	287億円 ↓×約6倍 <b>1,734億円</b>	5,245名 ↓×約15倍 <b>79,902名</b>
株価は7倍に上昇しました。	時価総額は、経済的な企業価値を表します。稻畑産業の成長や収益力の向上、株主還元強化などが市場から評価された結果といえます。	所有者別株式分布状況 個人・その他 15.8% (4,839名) 金融機関 24.4% (41名) 外国人 24.0% (154名) 国内法人 34.7% (177名) 証券会社 1.0% (33名) 自己株式 0.1% (1名) 31.1% (78,893名) 26.2% (21名) 23.2% (522名) 16.9% (434名) 2.4% (31名) 0.2% (1名)
売上高	営業利益	営業利益率 海外営業利益比率
4,107億円 ↓×約2倍 <b>8,378億円</b>	55億円 ↓×約5倍 <b>258億円</b>	1.3% ↓×約2倍 <b>3.1%</b> 38% ↓×約2倍 <b>62%</b>
売上高は、2倍になりました。2025年3月期には過去最高を達成しました。	営業利益額は5倍となり、2025年3月期には過去最高を達成しました。取り扱い商品の入れ替えや製造比率の上昇などによって、営業利益率も大きく向上しました。また、中期経営計画IK2013より注力してきた海外事業の強化の成果が、海外営業利益比率の増加に表れています。	
株主還元方針	一株当たり配当額	
配当性向20～30% (最低10円/株) ↓ 累進配当 + 総還元性向50%程度	10円 ↓×約13倍 <b>125円</b>	
配当を中心に、株主還元を充実させてきました。機関投資家・個人投資家から評価されています。 ※配当性向(%)=(配当総額/当期純利益)×100 総還元性向(%)={(配当総額+自己株式取得額)/当期純利益}×100	一株当たり配当額は約13倍になりました。この背景には、主に収益力向上と、株主への還元をより一層強化してきたことがあります。	
社外からの評価	取締役会の構成変化(同年7月1日時点)	
なし ↓ •JPX日経インデックス400、FTSE Blossom Japan Indexなどのインデックスへの組み入れ(2025年8月末時点)	社内9名 / 社外1名 監査役会設置会社 ↓ 社内5名 / 社外7名 監査等委員会設置会社	
2021年10月にサステナビリティ委員会を設置し、方針・施策の策定や情報開示を充実させた結果、ESG関連インデックス(株価指数)に組み入れられました。また、R&I社の発行体格付において、強固な仕入・販売基盤を構築し、利益規模が一段と拡大したことから「A(安定的)」の評価を獲得しました。	2015年に東証によりコーポレートガバナンス・コードが制定され、日本企業においてもガバナンス強化の機運が高まりました。ガバナンスの強化には企業の経営を第三者目線で監督する社外取締役の存在が必要不可欠です。	

15年前との比較から見えてきたのは、稻畑産業の着実な成長と進化です。このような進化を支える戦略や意思決定が分かりやすくまとめられているのが統合報告書です。次ページでは、2025年9月末に発行された統合報告書のポイントを紹介します。クイズにも挑戦して当社の「今」を確認しましょう！



“今の中”を知るヒントはここに!

# 統合報告書で会社の姿をのぞいてみよう

## 統合報告書って何? なぜ読むべき?

統合報告書は、主に投資家向けに財務・非財務の情報をまとめた年次報告書です。「ちょっと難しそう…」と思われるがちですが、実はこの一冊に、稻畠産業が描く未来像やトップの考え方、中長期の成長戦略、ESGへの取り組みなど、会社の方向性が凝縮されています。ここでは、2025年版統合報告書のポイントをご紹介します。



## 必読! 注目コンテンツ

### トップメッセージ(P7~12)

稻畠社長が2024年度の業績の背景や2030年に向けた長期ビジョン「IK Vision 2030」の進捗など、稻畠産業の「今」と「これから」を語る必読の内容です。



### 管理部門担当役員×外部有識者 対談(P41、42)

世界有数の資産運用会社であり、当社の株式を保有していただいているシローダー・インベストメント・マネジメントより、日本株式運用総責任者の豊田氏をお招きし、横田専務との対談を実施しました。財務戦略の進化や積極的な投資、M&Aによる成長など、当社の「変化し続ける力」や企業価値向上への示唆などが語られています。



### 社外取締役鼎談(P89~92)

当社の成長戦略や人材育成、ステナビリティへの取り組みについて、外部の視点から率直な意見や課題提起が交わされています。現場と経営のギャップ、変化への対応、ダイバーシティや後継者育成など、会社の“今”を考えるヒントが満載の内容です。



### NC2026注目エリア・ビジネス特集(P45~50)

NC2026の注力分野と位置付けているインド市場や半導体分野、環境配慮プラスチック分野において、当社の成長に向けた取り組みを分かりやすく解説しています。



あなたはいくつ正解できる? 統合報告書クイズに挑戦!!

ページ数も多く、なかなか手に取りづらい統合報告書ですが、開いてみると会社の成長や戦略、ステナビリティのヒントがたくさん詰まっています。クイズ形式で気軽にチャレンジしながら、稻畠産業の最新情報を楽しく発見しましょう!  
さあ、あなたはいくつ正解できる?

**Q1 当社グループの商社部門の人員は何名?(連結商社拠点・2025年3月末時点)**

- A. 約1,000名    B. 約1,300名    C. 約2,000名

参考 統合報告書P17  
カテゴリ 成長戦略

**Q2 「価値創造プロセス」では当社の独自の6つの強みが挙げられています。  
以下5つの強みに続く、6つ目は何?**

「持続的で安定した成長力」「ケミカル分野で高い専門性を持つ人材」「情報力とビジネス対応力」「ステークホルダーとの信頼関係」「強固な財務基盤」

- A. 19カ国約70拠点の海外ネットワーク    B. アジアの事業基盤    C. スピーディーな情報伝達と経営判断

参考 統合報告書P15~20  
カテゴリ 成長戦略

**Q3 当社グループの連結対象の製造・加工子会社は全部で何社?(2025年3月末時点)**

- A. 19社    B. 25社    C. 34社

参考 統合報告書P43  
カテゴリ 事業戦略

**Q4 社会課題解決の観点からも熱い視線が注がれる「環境配慮プラスチックス」。  
当社グループの同ビジネスの売上はここ3年で何倍に成長している?**

- A. 2.7倍    B. 6.2倍    C. 10.3倍

参考 統合報告書P49~50  
カテゴリ 事業戦略

**Q5 2050年度カーボンニュートラル達成に向け、2026年度に22年度比25%削減という目標を掲げています。2024年度のGHG排出量は非化石証書導入などの取り組みにより何%削減した?**

- A. 8.3%    B. 12.9%    C. 20.5%

参考 統合報告書P69  
カテゴリ ESG情報

**Q6 2025年3月に初めて実施されたサプライチェーン人権デュー・ディリジェンス(DD)の現地調査対象はどこ?**

- A. ベトナム・エビ養殖／加工工場    B. インドネシア・エビ養殖／加工工場    C. ベトナム・コンパウンド工場

参考 統合報告書P76  
カテゴリ ESG情報

**Q7 監査等委員でない取締役の報酬で、「業績連動報酬」の計算式に含まれないものはどれ?**

- A. エンゲージメントサーベイ達成率    B. 株価    C. ROE

参考 統合報告書P103  
カテゴリ ESG情報

※正解は次号いなほ、またはオンラインでクイズ回答後にご覧いただけます。

お客様の日常の側に、稻畠産業はいます。

普段はもちろんのこと、不測の事態が起こっても、  
「当たり前の日常」を守り抜くために。

誰よりも本氣で、誰よりも近くで。  
期待以上の提案力と、化学反応を起こす人間力。  
そして、愛と敬の精神をもって、  
お客様のビジネスの成功へ、より豊かな社会へ、  
私たちは全力で動いていきます。

当たり前をつなぐ、未来を紡ぐ。  
動ける商社 INABATAです。